

## やまくに山村塾 第93回行事 講演「私の菌類研究」

演者：相良直彦（塾代表）

話題：放尿跡や死体跡に生えるきのこ・かび、モグラときのこと樹木の関係、ほか

期日：2月5日（日）13:30～15:00

場所：山国町守実 コア山国プレイルーム

参加者：約30名（外部、塾員参加者合計）

スライドを用いて、次の順で話がおこなわれた：

1. アンモニアに反応する一群の菌の発見（攪乱生態学）
2. ナガエノスギタケおよびモグラとの出会い
3. きのこと通してみるモグラの生活（きのこ-モグラ学）
4. ヨーロッパにナガエノスギタケを追って

配布資料：

- 1) 相良直彦「山野における動物性廃物のゆくえ」、人環フォーラム No.5, 20-23, 1998.
- 2) 相良直彦「モグラノセッチンタケ紀行」、アニマ No.231, 84-88, 1991.
- 3) 相良直彦「きのこ-モグラ学ことはじめ」、国立科学博物館ニュース No.463, 12-13.

参考文献：相良直彦「きのこ動物 森の生命連鎖と排泄物・死体のゆくえ」、築地書館、2021, 274頁。

演者の感想

約1年前にNHK番組「ダーウィンが来た！」に姿を現したこともあってか、参加者層がいつもとは違うと感じられた。講演中には演者への相槌の声が漏れ聞こえ、講演後の質問や発言も活発であった。のちには、複数の参加者から「感動した」という感想をいただいた。思えば、塾の行事として、自分をさらけ出して研究歴を語るのは初めてであった。もっと早くにやるべきだったと思う。自分をさらけ出すことの大切さを感じた。